

平成20年度

ふるさと農村活性化基金事業

活動報告書



沖縄県農林水産部村づくり計画課

目次

本庁

ふるさと農村活性化基金実績発表会	．．．．． 1
水土里の路ウォーキング	．．．．． 2

北部

農が織りなす「なきじん！ゆがふ市」～今帰仁村の駅そーれ10周:	．．．．． 3
伊平屋の学校”米作り”プログラム	．．．．． 4
天仁屋土地改良区内清掃活動	．．．．． 5
湧川土地改良区内清掃活動	．．．．． 6
源河土地改良地区開墾地区清掃活動	．．．．． 7
数久田土地改良地区内清掃活動	．．．．． 8
農水産物消費拡大・農村体験イベント(いへや特産品フェア)	．．．．． 9

中部

ふるさとの森創造運動	．．．．． 10
うるま市与那城池味地区土地改良施設維持管理作業	．．．．． 11
「田舎・まちなちゅふれあいコンサート」	．．．．． 12

南部

目取真地区環境保全と花いっぱい村づくり活動	．．．．． 13
-----------------------	----------

八重山

ふるさといきがい農業支援事業	．．．．． 14
吉原日曜市と「ゆんたく料理教室」	．．．．． 15
大保良田地区ふるさと農村環境づくり	．．．．． 16
栄ふるさと花園づくり	．．．．． 17
星野ふるさと人魚の里づくり	．．．．． 18
崎枝ふるさと芭蕉道づくり	．．．．． 19
干立集落入口集落道の環境美化	．．．．． 20
さがり花名所創造運動	．．．．． 21
名蔵ダム祭り	．．．．． 22

ふるさと農村活性化基金実績発表会

■市町村名■

■活動主体または地域リーダー■

沖縄県

■活動日■

平成20年11月14日

■参加者、人数■

42名（県・市町村等職員）

■関連事業■

■基金事業を活用した理由■

基金事業に対する理解を深め、市町村の積極的な関与により継続的な地域活動につながるよう協力を促すため。

■活動内容■

H19活動実績より、活動実践者自らが写真等を用いて活動の内容や実施後の効果について発表を行った。意見交換会では、それぞれの地域の現状や地域活性化の手法等に関して活発な意見交換・情報共有がなされた。

発表者からは、他地区の活動を知ることができたこと、自らの活動に関する意見や評価を受けることができたこと、また県や市町村に対し、要望等を直接話すことができた良い機会であったとの声があった。

■活動費用■



水土里の路ウォーキング

■市町村名■

名護市

■活動主体または地域リーダー■

主催：沖縄県、沖縄県ウォーキング協会

共催：名護市

■活動日■

平成21年2月1日（日）

■参加者、人数■

都市住民及び地域住民 200名

■関連事業■

国営環境保全型かんがい排水事業（羽地大川地区）真喜屋ダム

■基金事業を活用した理由■

ウォーキングを通して、土地改良施設の役割の大切さや農業用水の維持管理の大変さ、重要性等について理解を深め、農村の多面的機能・農村地域の資源保全活動の必要性を啓発する。

■活動内容■

平成15年度より沖縄本島の各地で行っており、6回目になる今年は国営環境保全型かんがい排水事業（羽地大川地区）で造成した真喜屋ダムを起点に行われた。コースは受益地である真喜屋集落や補助事業で整備したほ場や農道、県指定史跡で、琉球王国時代のかんがい事業を顕彰する改決羽地川碑記等を廻るおよそ13kmのコースの里地・里山を設定した。

当日は、18℃の気温の下、晴天で、更に桜の開花時期と重なったため、200名近くの参加者は心地よい汗をかきながら、美しい自然や歴史などにふれながらウォーキングを満喫していた。ウォーキング終了後はダムの広場で、やんばる料理研究会の軽食販売や、山原女性農業者の会等が当日採れた野菜等の直売を行い、参加者に喜ばれるだけでなく、地元の地場製品のアピールにも繋がり”農業農村”は食を支える基盤であることを伝えることができた。

■活動費用■

20,200円（パンフレット印刷経費等）



(写真1)

みんなで記念撮影



(写真2)

土地改良事業で整備された畑沿いを歩く参加者



(写真3)

土地改良施設(真喜屋ダム)の説明に聞き入る参加者

農が織りなす今帰仁”なきじん市”

■市町村名■

今帰仁村

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 玉城オリエ

■活動日■

平成20年4月27日(日)

■参加者、人数■

村内農林漁業従事者及び一般村民と都市地区住民 約300人

■関連事業■

県営緊急総合畑地総合整備事業 湧川地区

■基金事業を活用した理由■

農地や農地周辺の地域資源を活用した田舎体験プログラムの実施により、都市地区住民との交流や「農地や農業」それらを取り巻く環境の保全活用への理解と認識を深め、あわせて地域外からの集客により地域活性化を図る。

■活動内容■

農地や農地周辺の地域資源を活用した下記の田舎体験プログラムを実施。農村の環境保全への理解を深められたと同時に、多くの村民と都市住民がイベントをとおして交流を深めることができ、地域の活性化が図られた。

- 1) あぜみちウォーク
- 2) 昔おもちゃづくり
- 3) ふれあいステージ

■活動費用■

410,490円

うち275,000円県基金から支出



伊平屋の学校“米づくり”プログラム

■市町村名■

伊平屋村

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー グループエコライフ 代表 西江 重信

■活動日■

平成20年8月17日（田植え） 平成20年11月22日（稲刈り）

■参加者、人数■

地元中学生及び地域住民25名（田植え） 子ども会及び地域住民50名（稲刈り）

■関連事業■

団体営ほ場整備事業前泊地区

■基金事業を活用した理由■

田植え、稲刈り等の農作業を地元の小・中学生に体験させ、農業を人間生活に大切な食料生産活動として捉えてもらうとともに、農村の風景やそれらを育むかけがえのない自然の大切さを理解してもらい、将来の農業農村の担い手を育成することを目的とする。

■活動内容■

地域の農家や住民の協力を得ながら、地元の小中学生による田植え、稲刈り等の農作業体験や自然観察を実施し、子どもたちの食料・農業・農村に対する理解を促進した。

また、農業農村整備事業の目的や農村地域の多面的機能等について説明を行い、地域農家や住民の認識を深め、地域住民活動の活性化に貢献した。

今後は、グリーンツーリズム体験や食品加工体験（野草の製品化等）を県内小中学生を対象に実施していく予定である。

■活動費用■

177,711円（うち156,000円を基金から支出）



天仁屋土地改良区内の清掃活動

■市町村名■

名護市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 天仁屋区長 大城 千代子

■活動日■

平成 20年 8月 23日～ 24日

■参加者、人数■

農家 20人

■関連事業■

天仁屋地区県営畑地帯総合整備事業

■基金事業を活用した理由■

地域住民による、農道の草刈及び整備、排水路土砂除去、防風林の剪定等の協同作業を実践することにより、土地改良施設の維持管理に対する必要性及び関係者の地域農業を取り巻く環境保全の認識、土地改良区域への啓発を図る。

■活動内容■

土地改良区内の清掃を実施することで、農道、排水路、防風林帯等の各施設が正常な機能を発揮する事により、地域環境保全に対する重要性の再認識にもなり、参加した地域住民も共同活動の必要性を認識し、地域の活性化にもつながった。

■活動費用■

¥193,500の内(¥174,000)は、ふるさと農村活性化基金



湧川土地改良地区内の清掃活動

■市町村名■

今帰仁村

■活動主体または地域リーダー■

実施主体：今帰仁村字湧川区
共催：今帰仁村パインアップル生産部会
地域リーダー

■活動日■

平成20年5月16～28日

■参加者、人数■

湧川区民、農家、婦人会、老人会等 参加人数 25人

■関連事業■

県営緊急総合畑地総合整備事業 湧川地区

■基金事業を活用した理由■

農家と地域住民による排水路及び土砂溜柵の浚渫を行うことにより、土地改良施設の維持管理の重要性を認識させ、地域住民活動の活性化を図るために基金事業を活用した。

■活動内容■

土地改良区内の排水路及び土砂溜柵の浚渫を行うことにより、土地改良施設の機能回復が図られ、農家の営農意欲の向上につながった。

この活動を通じて参加者に土地改良施設の適正管理の重要性と耕土流出防止等地域環境に対する意識の向上が図られ、地域活動の活性化を推進することができた。

■活動費用■

328,092円

うち320,000円県基金から支出



源河土地改良区地区、開拓地区清掃活動

■市町村名■

名護市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 石川 保世

■活動日■

平成20年6月25日～8月30日

■参加者、人数■

農家 婦人会 向上会 老人会 100名

■関連事業■

源河区県営緊急総合畑地総合整備事業

■基金事業を活用した理由■

土地改良区内の排水及の草刈・土砂溜柵の浚渫を行うことにより、地域の農業環境の向上を図り又、地域の美化活動にも意識をもたせリーダー育成にも支援できる。

■活動内容■

土地改良区内の清掃の草刈り、排水路の土砂除去作業を実施する事により地域環境保全に重視する事ができ、また共同作業をすることにより地域の結束が深まり、地域の活性化につながりました。

■活動費用■

320,000円（ミニコンボ・ダンプカー・草刈り機・ホーク・燃料費）
うち293,000円は基金から支出



数久田土地改良区地区内清掃活動

■市町村名■

名護市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 久高良宣

■活動日■

平成20年11月19日～30日（5日間）

■参加者、人数■

地域住民 167名

■関連事業■

数久田地区県営畑地帯総合整備事業

■基金事業を活用した理由■

土地改良の農道、排水路等の清掃作業を実践する事により受益者及び関係者の農業を取り巻く環境への認識、土地改良地域への啓蒙を図るため。

■活動内容■

農道の草刈り清掃、雑木の伐採、排水溝の土砂除去作業等参加した地域住民も共同活動の必要性を認識し、地域の活性化にもつながった。

■活動費用■

356,000円

ふるさと農村活性化基金事業より 293,000円

数久田区より 63,000円



いへや特産品フェア

■市町村名■

伊平屋村

■活動主体または地域リーダー■

主催： いへや特産品フェア実行委員会

共催： 伊平屋村商工会、伊平屋村、JA沖縄伊平屋支店、伊平屋村漁業協同組合

地域リーダー： 宮城 普男（伊平屋村商工会副会長）

■活動日■

平成20年5月3日(土)～5月4日(日)

■参加者、人数■

観光客・帰省客 765人 島内住民 約400人 計 約1,165人

■関連事業■

県営かんがい排水事業伊平屋北部地域 元気な地域作り交付金（農道）前泊地区

■基金事業を活用した理由■

伊平屋村の特産品を村内外にアピールすることにより、農林水産物の生産意欲の向上を図ることと、特産品製造・創作への気運を高めることを目的とする。併せて農林水産体験・自然体験をとおして伊平屋村の豊富な自然、観光資源の掘り起こしを行い再確認を図る。

■活動内容■

島内で生産された農林水産物や加工品を試食、展示、販売することにより、特産品製造に対する意欲や気運を高め実践することにつながった。また、自然体験を組み入れ土地改良圃場の見学とその機能の啓発を図ることにより、観光客及び村内住民の農業基盤整備についての再認識を図ることに繋がった。

■活動費用■

101,672円（うち、100,000円県基金から支出）

〔・横断幕制作・イベント保険・広報車燃料費・会場設営消耗品・リース代〕



ふるさとの森創造運動

■市町村名■

うるま市

■活動主体または地域リーダー■

うるま市津堅区自治会

■活動日■

平成20年11月21日

■参加者、人数■

地域住民、津堅小中学校児童 85名

■関連事業■

県営畑地帯総合整備事業、津堅地区

■基金事業を活用した理由■

津堅地区で整備された農道及び事業地区の一角に位置し、いこいの森として造成された森林公園がギンネム等雑木の繁茂やゴミ等の不法投棄により、日々の管理が困難な程に環境悪化している状況を改善する。また、地域の共同作業による維持管理を行うことにより、地域の連帯感を強化、地域活動の活性化をはかる。

■活動内容■

森林公園の雑木除去、石礫除去等により環境を整え、地域児童に植樹させることによりふるさとの森の再生を図る。休憩所等も塗装、美化を図り、地域住民が地域財産を適正に保全する心を養う。

■活動費用■

571,305円（雑木及び石礫除去、植樹苗代、ペイント材料等一式費用）
うち基金から569,800円支出



宮城島池味地区土地改良施設維持管理作業

■市町村名■

うるま市

■活動主体または地域リーダー■

宮城島池味土地改良区

■活動日■

平成20年11月30日

■参加者、人数■

地域住民 90名

■関連事業■

農村総合整備事業与那城地区（池味地区ほ場整備）

■基金事業を活用した理由■

土地改良施設周辺がギンネム等雑木繁茂やゴミ等の不法投棄により、日々の管理が困難な程に環境悪化している現状を改善する。また地域の共同作業による維持管理を行うことにより、地域の連帯感を強化、地域活動を活性化し、土地改良施設の適正な保全を図る。

■活動内容■

沈砂地、農道、排水路、防風林等土地改良施設の維持管理について「地域の財産は地域の手で」の共通認識を再生し、地域住民の共同作業による土地改良施設の適正な維持管理を行い、あわせて景観保全等に資する。

■活動費用■

476,700円（防風林に混入した雑木除去、農道排水路、沈砂地等の維持管理費うち基金から470,000円支出）



田舎・まちなちゅふれあいコンサート

■市町村名■

読谷村

■活動主体または地域リーダー■

長浜川土地改良区

■活動日■

平成20年11月23日

■参加者、人数■

地域住民、都市住民 300名

■関連事業■

県営かんがい排水事業、長浜地区

■基金事業を活用した理由■

県営かんがい排水事業で整備された長浜ダムの多目的広場において、コンサートを通じて地域住民と都市住民との交流を図り、広く土地改良財産の多面的機能の啓蒙普及を図る。

■活動内容■

長浜ダムの多目的広場においてふれあいコンサートを行うことにより、地域住民を始め都市住民への土地改良財産の多面的機能の啓蒙普及を図る。また、受益地で生産された農作物や加工品等、地産地消を展示紹介することにより田舎・まちなちゅの交流を促進する。

■活動費用■

530,000円（コンサート開催、保健所申請、会場設置費用）全額基金から支出



目取真地区環境保全と花いっぱい村づくり活動

■市町村名■

南城市

■活動主体または地域リーダー■

目取真地区環境保全実行委員長 大城秀雄

■活動日■

平成20年10月26日（日）・11月2日（日）・11月23日（日）

■参加者、人数■

農家・区民 249名

■関連事業■

県営農地保全整備事業 目取真地区

■基金事業を活用した理由■

混住化が進む中清掃・花園づくり活動を通して、地域住民のふれあいと土地改良施設の環境保全についての理解を深めながら、農地の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図る。

■活動内容■

地域住民による農業施設周辺の清掃及び区内の花園づくりを行った後、グランドゴルフ大会を開き地域住民の親睦を深めた。また、地区内の農業用施設である農道、排水路、圃場の現状視察ウォーキングを開催し、施設保全の重要性の共通認識を図った。今後も地域住民による環境保全活動を実施していく計画である。

■活動費用■

500,000円（苗木、重機使用料等）全額基金から支出



ふるさといきがい農業支援事業

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

主催：フクギの会 石垣島土地改良区 八重山支庁農林水産整備課

■活動日■

平成20年4月1日（火）～平成21年3月31日（火）

■参加者、人数■

地域住民 約20名

■関連事業■

県営ほ場整備事業 大浜地区

■基金事業を活用した理由■

地域住民参加による防風林（苗木）の植栽及び防風ネット等の維持管理作業を行いながら、隣接スペースを活用し各自好きな野菜等を栽培する。防風林の機能回復を図るとともに、農業農村整備事業に対する理解を促進する。

■活動内容■

地域住民がフクギ、ゲットウを植栽し、防風ネットの設置まで行ったことで、農業振興を図るうえでのハード事業が持つ重要性について身を以て実感することができる。

■活動費用■

382,800円（防風林苗代、農作業器具代、肥料代等）全額を県基金から支出



吉原日曜市と「ゆんたく料理教室」

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：川上博久

主催：吉原自治公民館

■活動日■

平成20年7月13日（日）

■参加者、人数■

地域住民 約20名

■関連事業■

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 吉原地区

■基金事業を活用した理由■

集落内にある休耕地の解消、新旧住民の交流、マンネリ化した日曜市の脱却を図り、農村集落の活性化、地域リーダーとしての活動を充実させたい。

■活動内容■

集落内にある休耕地を借り、農作物づくりを始め、採れた野菜にて料理教室を行う。近年都市住民の移り住みが多い地区でもあるので、住民交流の場として料理教室を開催し新住民による洋風料理から、地元おばあ達の伝統料理を皆で作り、コミュニケーションを図った。

また、日曜市の「のぼり旗」を作成し県道沿いへ掲げる事により、日曜市及び集落に活力を注入し、地域活性化を図ることができた。

■活動費用■

299,250円（のぼり旗製作費、調理器具代）全額を県基金から支出



栄ふるさと花園づくり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：又吉哲夫（栄公民館長）

主催：栄自治公民館 石垣島土地改良区

共催：八重山支庁農林水産整備課 水土里ネット八重山支所

■活動日■

平成20年11月4日（火）

■参加者、人数■

子ども会及び地域住民 約40名

■関連事業■

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（栄地区）

■基金事業を活用した理由■

子どもたちも含め、地域住民が一体となって植栽作業を行うことで、情操教育の場を創造するとともに農村風景を保持し、土地改良施設の多面的機能を発揮することで地域活性化を図る。

■活動内容■

栄集落は石垣島の北東部に位置し、緑豊かな景勝地となっている。公民館前広場の入植50周年記念「開拓」の石碑周囲や、集落入口の荒地に美しい花園を造成したことで農村景観が向上し一層魅力ある農村となった。

また、子供から大人まで一体となって植栽作業を行ったことで住民同士の交流が深まるとともに、良い情操教育が行われた。

■活動費用■

369,600円（重機使用料、花の苗代、肥料代等）全額を県基金から支出



大保良田ふるさと農村環境づくり

■市町村名■

竹富町

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：西大舩高旬

主催：さがり花育てる会（竹富町土地改良区、大原公民館、子ども会、婦人会、壮年会、青年会

共催：八重山支庁農林水産整備課 水土里ネット八重山支所

■活動日■

平成20年11月15日（土）

■参加者、人数■

子ども会及び地域住民 約50名

■関連事業■

経営体育成基盤整備事業 大保良田地区

■基金事業を活用した理由■

土地改良事業で造成された施設への植栽活動による美しい農村環境づくりと、地域住民の情操教育の場及び憩いの場の創造を推進する。

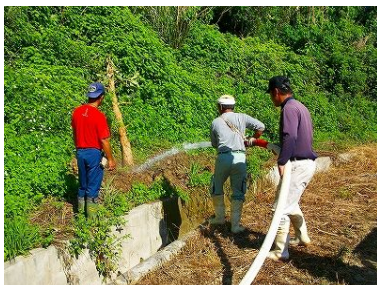
■活動内容■

経営体育成基盤整備事業で造成された排水路沿い等に「サガリバナ」を植栽したことで、大保良田地区が生産性だけでなく景観的にも優れた地区となり、都市住民の来訪機会拡大による活性化が期待できる。

また、子供から大人まで一体となって作業を行ったことで住民同士の交流が図られ、今後はこの場所が住民の憩いの場として活用される見込みである。

■活動費用■

499,800円（重機使用料、苗代など）全額を県基金から支出



星野ふるさと人魚の里づくり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：東内原稔

主催：星野自治公民館

■活動日■

平成20年6月22日（日）

■参加者、人数■

地域住民 約60名

■関連事業■

団体営中山間地域総合整備事業 石垣北部地区

■基金事業を活用した理由■

土地改良事業で造成された施設の除草及び植栽活動による美しい農村環境づくりを行い、「人魚の里」としての地域活性化を図り魅力ある地域づくりを目指す。

■活動内容■

集落内農道を生い茂っていた雑草や、通行を妨害していた倒木の除去を行うことにより本来の快適な空間「人魚の里」を取り戻せた。また、公民館周辺の花壇や集落道沿いへも各自が持ち寄った花を植栽することにより、以前よりも一層明るい農村地域になった。

町によって整備された道路の必要性・重要性を地域住民が十分に理解し、自分たちの手で維持管理を続けることで住民同士の交流が図られ地域の結束がさらに強まった。土地改良施設が農業にだけ活用される存在、を超えたものとなっている。

■活動費用■

369,600円（農作業機械代、油代など）全額を県基金から支出



崎枝ふるさと芭蕉道づくり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：箕田俊晴

主催：崎枝自治公民館

■活動日■

平成20年12月7日（日）

■参加者、人数■

地域住民 約20名

■関連事業■

団体営中山間地域総合整備事業 石垣北部地区

■基金事業を活用した理由■

崎枝地区の幹線道である市道沿いの防風林帯に実バショウ（バナナ）を植栽することにより、地域の活性化効果と地域住民の親睦を深めたい。

■活動内容■

石垣北西部に位置する崎枝集落は、石垣島の中でも特に優れた景勝地である「御神崎」を訪れる観光客、市内住民が、必ず当集落の幹線道である市道を通行していくため、かなりの交通量がある。その市道沿いに地域住民の手で島バナナを植える事により、住民の結束、地域活性化、来訪者の目を楽しませる事ができる。

また、バナナは脇芽からの再発芽を出すことから、この活動を契機に以後の増殖も期待できる。

■活動費用■

369,600円（苗代、農作業器具代、看板制作費など）全額を県基金から支出



干立集落道の環境美化活動

■市町村名■

竹富町

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：前鹿川徹

主催：干立自治公民館

■活動日■

平成20年9月20日（土）

■参加者、人数■

地域住民 約60名

■関連事業■

団体営中山間地域総合整備事業 星の砂地区

■基金事業を活用した理由■

土地改良事業で造成された施設の除草及び植栽活動による美しい集落内の環境美化活動を行い、「ヤエヤマヤシ群落の元、干立」としての地域活性化を図り魅力ある集落づくりを目指す。

■活動内容■

干立集落は西表西部に位置し、集落には天然記念物の「ヤエヤマヤシ群落」や国の補助で建てられた10戸のペンション等があり観光客も頻りに訪れる。しかし集落の入口付近が、雑草の繁茂や、沼があることで地元や観光客からのゴミ捨て場と化している。

今回集落の玄関を地域住民総出で除草や植栽を行い生活環境、集落環境を改善したことで、地域の意識改善にも繋がり、集落への来訪者へも気持ちよく迎え入れられる環境となった。

■活動費用■

288,750円（農作業機械代、油代、苗代など）全額を県基金から支出



さがり花名所創造運動

■市町村名■

竹富町

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：石垣金星

主催：祖納自治公民館

■活動日■

平成20年5月5日（月）

■参加者、人数■

地域住民 約20名

■関連事業■

団体営ため池等整備事業 東祖納地区

■基金事業を活用した理由■

土地改良事業で造成された施設への植栽活動による美しい農村環境づくりに併せて、自然の猪垣を造成する事により、地域住民の憩いの場創造及び農作物被害の軽減を推進する。

■活動内容■

ため池等整備事業で造成された用水路沿い等に「サガリバナ」を植栽することで、祖納地区が生産性だけでなく景観的にも優れた地区となり、西表の中でも「サガリバナ」の名所となることが期待される。

町によって整備された用水路の必要性・重要性を地域住民が十分に理解し、自分たちの手で維持管理を続けることで住民同士の交流が図られ地域の結束がさらに強まった。土地改良施設が農業にだけ活用される存在、を超えたものとなっている。

■活動費用■

369,600円（農作業機械代、油代、苗代など）全額を県基金から支出



名蔵ダムまつり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

活動主体：名蔵ダムまつり実行委員会

〔八重山支庁農林水産整備課、石垣市むらづくり課、石垣島土地改良区、沖縄総合事務局土地改良課
土地改良総合事務所、水土里ネット八重山支所〕

■活動日■

平成20年10月25日（土）

■参加者、人数■

地域住民 約1,300名

■関連事業■

国営名蔵川かんがい排水事業

■基金事業を活用した理由■

農業用ダムが良好な景観形成、親水機能といった多面的機能を有していることをPRするため、ダム本体及びその周辺施設を活用したイベントを開催することにより、農業用ダムが多くの住民にとってより身近な施設となることを目的とする。

■活動内容■

湖面、堤体、周辺施設を多面的に活用した「遊び」に加え、パネル展や管理所見学などの「学び」があったことで、多くの方々に農業用ダムを効果的にPRできた。

また、地元小学校や農村婦人の会、市消防団と連携した各種催しを行ったことで、地域との交流も深まった。

■活動費用■

817,644円（謝礼金、景品代等）273,000円を県基金、残は課事務費から支出

